

故郷への想いを絵筆にのせて

竹内ロウさんが描く 古き良き鳥取

水面の透明感や、青々とした木の葉の一枚一枚に至るまで緻密に描かれた水彩画が話題を呼んでいる。作者は、倉吉市で少年時代を過ごした漫画家兼水彩画家の竹内ロウさん。

今年、活動の拠点を東京から鳥取に移した竹内さんの制作活動を紹介する。

高校卒業と同時に 鳥取を離れ、漫画家の道へ

「古き良き鳥取」をテーマに風景画を手掛ける水彩画家の竹内ロウさん。古い町並みや狭い路地などを扱った水彩画は、まるで写真のように緻密だが、無機質さはなく故郷への優しいまなざしを感じる。竹内さんの手にかかると見慣れた景色ですら懐かしさと呼び、個展に訪れた人の中には涙を流す人もいるほどだ。

竹内さんは小学校卒業まで倉吉市で育った。これまでの作品は、白壁土蔵や打吹山周辺、東郷池など中部

地区の風景も多い。「倉吉は第2の故郷で大好きな町。絵になる景色がたくさんあるんです」と優しく微笑む。子ども時代は手塚治虫の漫画を読むで育ち、自分でも漫画のイラストを真似た。小学校の図工で描いた作品が賞をもらったこともあり、子どもの頃から絵を描くのが好きだった。

引越により鳥取市内の中学校に進学し、高校卒業まで鳥取市内で過ごした。美術部でもなく、漫画を描いていたわけでもなかったが、自分の将来をイメージした時、「絵だな」と直感し、18歳で漫画家を目指して上京。鳥取市出身で漫画家の玄

ではカラーページも経験していたので自信があったのですが、いざやってみると全然思い通りにできなくて、それからは試行錯誤の連続でした」と振り返る。

ペンと筆の表現方法、紙の種類色の乗せ方など、漫画との違いに当初は苦戦し、来る日も来る日も机に向かった。時には動画サイトでプロの水彩画家の投稿を見て画材などを参考にしたこともある。「水彩画らしいばかりとした表現もできるのですが、しっくりこなかった。自分らしい絵は漫画で培った緻密さだと考え、突き詰めていきました」。独学でさまざまな表現方法を試し、自分のスタイルを確立していった。

当初の題材は人物やバイクなどだったが、帰省をきっかけに鳥取の景色を描くようになった。心惹かれた



水彩画は色を塗り重ねても修正できないので、薄い色から順に塗っていく



のは、昔ながらの故郷の情景。帰省のたびに何十枚も風景写真を撮影して、東京の自宅で描き溜めた。「故郷を描くうちにどんどん里心が付いて、子どもたちも成人しているし、僕だけ地元に戻ることにしました」とUターンを決意。今年から拠点を鳥取市内の実家に移し、現在は制作活動に没頭する毎日だ。

自らの足で地域を歩き 自分ならではの鳥取を描く

都会暮らしが長かった竹内さんは、自動車免許を持っていない。絵の題材を探す時は徒歩か自転車だ。車だと見落としてしまうような小さな気づきがあり、じっくりと故郷の景色に目を向けて、写真に収めていく。少しづつ構図を変えて、多いと1日で50枚以上撮影する時もある。その

場ではなく、自宅で写真を見ながら下絵を描き、完成までは2〜3日。「漫画家時代は過密スケジュールをこなしていたので、もつと早くもできず、今はゆっくり楽しみたい」と余裕を持って絵と向き合う。

水彩画家としてのキャリアは短いですが、すでに倉吉市と鳥取市で個展を開催している。「お客様からはいろいろな反応があつて面白いです。『散策をしているみたい』と喜んでくれる人もいます」と語り、来場者とのコミュニケーションにも楽しみを見出す。

「一度鳥取を離れたからこそ、発見できる魅力があると思つています。自分なりの鳥取らしさを表現していきたいです」。竹内さんの水彩画を通じて、故郷の魅力を再発見してみたいかがだろうか。



漫画家、水彩画家
竹内ロウさん

鳥取市在住。主に生まれ育った倉吉市や鳥取市の情景を描き、今後は西部地区の風景や、風景以外の題材にも挑戦する予定



1.鳥取市の仁風閣は何度も作品の題材にしており、思い入れも強い 2.白壁土蔵群を流れる玉川の透明感が、SNSや個展で反響を呼んだ 3.最近、倉吉市を訪れた際に描いた打吹山の麓にある賀茂神社参道 4.漫画家時代のペン画。ビルの細部まで緻密に描写している 5.水彩画を始めた頃は風景以外をテーマにしていた。今も依頼があれば描いている

竹内ロウ 個展information

Gallery ぞら
2023年3月9日(木)~14日(火)まで開催予定
鳥取市栄町658-3 駅前サンロード ☎0857-29-1622

国指定重要文化財 仁風閣・宝扇庵
2023年5月開催予定
鳥取市東町2丁目121 ☎0857-26-3595

コミュニティプラザ 百花堂
2023年8月10(木)~16(水)まで開催予定
倉吉市宮川町127-2 ☎0858-22-6811
時間 10:00~18:00 (最終日16:00まで)



個展情報は
Instagramで
随時更新